

みなさまへ



❁ 皆さん、こんにちは！！ お元気ですか！？

12月3日（月）より、埼玉県議会では12月定例会が始まり、
12月10日（月）には「一般質問」をさせていただきました。

❁ 一般質問とは、知事や県幹部に向かって、県の今後の取り組みについて意見・提案を述べる演説のようなもので、持ち時間は30分となっています。
その30分の演説後に、知事をはじめ担当部長がそれぞれ答弁という形で質問に答えます。それが40分程。

❁ 一問一答形式ではないので、当日は若干セシモノー雰囲気ですが、その当日を迎えるまでに、各担当部署とかなりやりとりをしなければならず、そこでのやりとりが様々な問題の改革への一歩となります。

❁ もちろん、一般質問の機会が無くとも、「教育」「環境」「インフラ整備」等、毎回担当部署とやりとりを進めており、それぞれ着実に問題解決に向かっていますが、公式の文書として残るという点では、一般質問も大きな意味を持ちます。

❁ 今回の一般質問では、これまで僕がNPOで活動してきた「教育問題」をはじめ、議員となってからのこの1年半余の政治活動の中で、皆さんと共に考え行動してきた「環境」「高齢者」「福祉」「農業」「文化」「スポーツ」などの問題に対する意見・提案を知事にぶつけました。

❁ 「一般質問」は、皆さんの思いや考えを、代表して述べる場です。そして、知事や各担当部長の答弁も、質問への単なる答弁ではなく、皆さんの未来へのメッセージであればと思っています。後日、当日の詳細レポートをお配りします。ぜひ、ご覧ください！！

◎ 一般質問当日の様子がご覧になれます(^^)／

◆ 埼玉県ホームページ 埼玉県議会中継 ◆



<http://dvlsv.skipcity.jp/saitamaken/2.html>

※「動画を視聴/12月」→「12/10(月)一般質問」→「中原恵人」でご覧いただけます。



一般質問 要旨

◆◆ 教 育 ◆◆

埼玉県のこれからの「教育」について

◎「子供を見れば社会が分かる、家族を見れば国が見える」つまり「教育と政治は未来への両輪」。これは、これまでの活動の中での僕の持論です。1990 年代、不況に苦しんでいたフィンランドでは財政危機の中、大胆な教育への投資によってそこからの脱出に成功しました。ここでは、埼玉県における「教育」への知事の思い、その中での「政治」の役割について質問しました。

新設される吉川美南高校の今後について

◎いよいよ来年度から吉川高校が「吉川美南高校」として生まれ変わります。総合学科という形で大学進学も、就職率 UP も目指すという新校。地域に必要とされ、愛される学校となるために、具体的にどんな取り組みを進めるのかについて質問しました。



キャリア教育の充実について

◎高校中退、大学中退、ニート、フリーター…今、若者の無業・不安定就労は増加の一途であり、生活保護費の増加も含め、これは社会の根幹にかかわる大きな問題です。その解決のひとつとして来年度から高校において全面的に取り組まれる「キャリア教育」。これは「資格取得」という意味での「キャリア」ではなく、「人間関係形成能力、自己効力感、課題適応能力」を育み社会に貢献出来る人間を育てるという意味です。日本の未来にとって非常に重要なこの事業、いかに軌道に乗せてゆくかについて質問しました。



◆◆ 若 者 ◆◆

ひきこもり青少年への訪問支援について

◎これまで僕が 20 年間取り組んできている「不登校・ひきこもり問題」。一番大事なものは当事者への粘り強い訪問です。ここではそうした訪問事業の充実に加え、民間支援団体を結びつける中間的組織の立ち上げを提案しました。

◆◆ 障 害 者 問 題 ◆◆

特別支援学級担任の増員について

◎障害者も健常者も社会の中で共に暮らしていけるようにという考えが「ノーマライゼーション」というものです。その最初の舞台は小・中学校の特別支援学級です。しかし、この学級において教員の数足らないという現状があり、障害のある子供達への支援が十分ではない現場もあります。そこで教員の配置に関して柔軟な配慮を求めました。

特別支援学校の生徒達の就職について

◎障害のある生徒達もそれぞれが自分にあった職業を見つけ、自活し、社会に貢献してゆくという充実感を得られる、そんな社会こそが真の共生です。しかし、現在特別支援学校での実習・就労先企業の開拓は教員個人の熱意にゆだねられており、それにも限界があります。そこで、就労関係の専門機関が中心となり、障害のある生徒達のための企業開拓を進めてゆくことを求めました。



◆◆ 防 災 ◆◆

福祉避難所における食物アレルギーへの対応について

◎卵や小麦などを食べることで、じんましんや呼吸困難となる食物アレルギーの子供達。最悪の場合は生命にも関わります。今回の東日本大震災ではそうした子供達への食品配給が困難となった例が多くみられました。災害時に高齢者や障害者など、援護を必要とする人達にむけた避難所である「福祉避難所」。その「福祉避難所」において、ぜひ「食物アレルギー患者」への対応も出来るように求めました。

◆◆ 高 齢 者 問 題 ◆◆

地域包括支援センターの充実について

◎今後、埼玉県は全国一のスピードで高齢化が進み、2030 年には約 3 人に 1 人が高齢者となる予測です。そうした中、高齢者を総合的に支える拠点である「地域包括支援センター」はまだまだその機能を十分に果たしていません。そこで、職員へのスーパーバイズ（職員への支援という意味です）や市町村のリーダーシップの強化を求めました。

市民後見人の養成等について

◎今年 8 月に発表された認知症高齢者数は 280 万人。実に高齢者の 10 人に 1 人が認知症という結果です。そうした中、今後、高齢者の権利を擁護し、財産を管理し、生活を支える役割を担う「成年後見人」の重要性が高まりますが、特に家族や弁護士以外の一般市民がそうした役割を担うようになる「市民後見人」の増加は必須です。これに対する県の今後の取り組みを伺いました。

認知症サポーターの養成について

◎地域として認知症への理解・支援を深めようと全国で進められている「認知症サポーター」の養成。中原事務所も全員サポーターとなっていますが、現在その数は全国で 300 万人を超え、埼玉県では約 10 万 7 千人となっています。しかし同じような人口構成の愛知県に比べると 8 万人以上も少ない現状です。今後、その養成を進める中で、ぜひ未来を担う世代、特に高校生に向けての養成講座の開催を求めました。



◆◆ 文 化 ◆◆

さいたまゴールド・シアターの活動展開について

◎「老いる」ということは決して「マイナスのことばかり」ではありません。演出家・蜷川幸雄氏率いる、高齢者劇団「さいたまゴールド・シアター」は高齢者を「可能性を秘めた創作者」と捉え、様々なチャレンジを展開しています。ぜひすべての埼玉県民に、その「ほとばしる生へのエネルギー」を体感してもらえるような機会を求めました。

◆◆ 環 境 ◆◆

水と川の再生について

◎西に中川、東に江戸川、そして中央に大場川と、吉川はまさに「川の郷」です。川を私たちの共有資産と捉え、川が持つ文化的・社会的価値を再考し、その再生を目指すとき、川は私たちの生活に安らぎを与えるのみならず、地域再生の大きな柱となります。

そこで、

- ① 合併処理浄化槽に課せられている定期検査の実施率の向上
 - ② 木売落悪水路の浄化について
 - ③ 子供達への環境教育の充実について
- の 3 点を質問しました。



◆◆ ス ポ ー ツ ◆◆

日本一長いサイクリングロードの整備について

◎昨年 6 月、利根川～江戸川の土手を走る日本一長いサイクリングロードが完成しました。その距離 170 キロ（そのうち埼玉県エリアは 90 キロ）。群馬県の渋川から東京ディズニーランドまで走り抜くことが出来ます。ぜひ、そのサイクリングロードにベンチやそれぞれの地域の案内板などを設置し、休息・交流・情報スペースにすることを提案しました。

◆◆ 農 業 問 題 ◆◆

◎食糧の面でも、環境保全の面でも、そして人々の心の潤いの面でも農業を大切にし、未来へとつないでゆくことは私たちの義務です。そうした中、豊かな水田が広がる吉川市北部・東部の耕地を守るためには、区画整理、水路・道路の整備などの基盤整備はもちろんのこと、農業の担い手の育成が必要です。

そこで、吉川市をはじめとする埼玉県東部地区における、

- ① ほ場整備の今後
- ② 新規農業従事者の拡大

以上 2 点、埼玉県の今後の取り組みを伺いました。



◆◆ イ ン フ ラ 整 備 ◆◆

◎道路や橋などのインフラ整備は、市民生活に直結する重要な事項であり、政治が果たすべき役割のひとつです。

そこで、吉川市において現在市民の関心の高い箇所、

- ① 葛飾吉川松伏線バイパス（さくら通り）の北部への延伸について
- ② 吉川橋の架け換えについて

以上 2 点、現在の進捗状況ならびに今後の見通しについて質問しました。



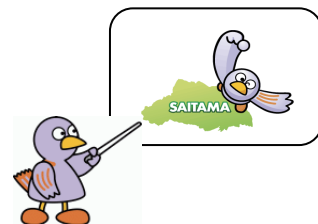
こ れ ま で



県議会へ送り出していただいてから 1 年半余、様々な活動を通して、皆さまからご意見・ご要望をいただいています。

県政報告会

これまでに数多くの県政報告会を開催しています。そこでは、スライドを使い、県政の現状や、僕の日々の活動などをお伝えしています。また同時に、それぞれの地域で行う県政報告会は、皆さまからのご意見やご要望を、直に受け取ることができる、貴重な場でもあります。(^^)



中曽根地区



下河岸地区



中野地区



二つ沼地区



ネオポリス地区

NEXT 吉川



NEXT 吉川とは「次世代のために美しい未来を」を合言葉に、県議、市議、市民が集う場です。様々なテーマの勉強会や、地域のパパママ子供達が仲良くなれるイベント等を行っています。「みんなの力を合わせて吉川市の未来を創ろう!」と活動中です!!(^^)



親子レクリエーション



県政・市政合同報告会



街について語ろう会



防災についての座談会



天体観測会

今後も、吉川市に美しい未来を創るため、住んで良かったと思える街を創るため、地域の皆さまと共に考え、行動してきた様々な問題についての意見・提案を埼玉県にぶつけてきます!!

何か困ったこと、街作りへの提案などありましたら、いつでもご連絡ください！
すぐに伺います!!

【中原恵人事務所】

342-0041 吉川市保 462-1 Tel/Fax 048-983-7886 Mail office@nakahara-shigeto.com